

令和5年度 第1回

国民健康保険事業の運営に関する協議会議案

日 時 令和5年9月6日（水） 13時30分～

場 所 中標津町役場3階 302号会議室



会 議 次 第

1. 開 会

2. 会長あいさつ

3. 副町長あいさつ

4. 議事録署名委員の選出

5. 議 事

議案第1号 令和4年度 国民健康保険事業特別会計決算について

議案第2号 保健事業について

6. 閉 会

議案第 1 号

令和 4 年度 国民健康保険事業特別会計決算について

中標津町の国民健康保険加入世帯は令和4年度末現在で 3,040世帯、対前年度比 1.5%減少となっており、町の世帯の約 27.04%が加入していることとなります。町全体の人口は 22,402人で対前年度比で約 12%減少、国保被保険者数についても年度平均で 5,054人と 3.3%減少となっています。

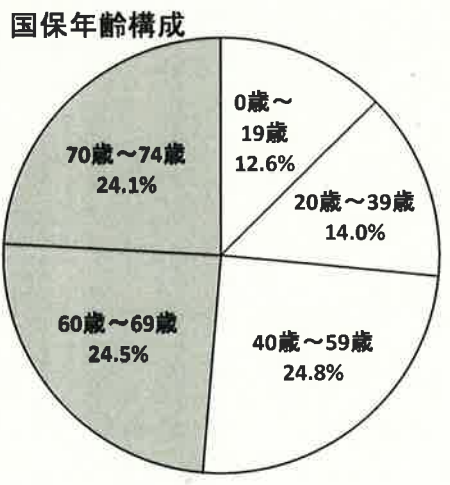
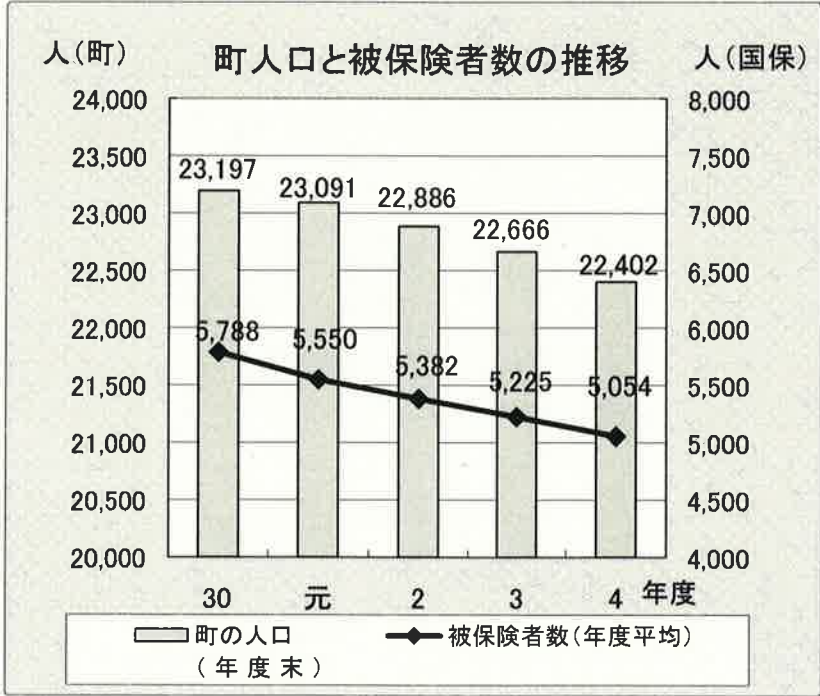
被保険者の年齢構成は、60歳以上が加入者全体の 48.6%となっており、今後も高齢者の割合は緩やかに増加していくものと推察しております。

①加入状況(令和4年度末現在) (単位:人、%)

年度	世帯数(年度末)			町の人口 (年度末)	被保険者数(年度平均)						一世帯当 被保数
	全世帯数	国保加入数	加入率		総数	対前年比	一般	対前年比	退職	対前年比	
30	11,053	3,238	29.30	23,197	5,788	94.01	5,776	94.50	12	26.67	1.7
元	11,114	3,195	28.75	23,091	5,550	95.89	5,548	96.05	2	16.67	1.7
2	11,177	3,124	27.95	22,886	5,382	96.97	5,382	97.01	0	0.00	1.7
3	11,234	3,087	27.48	22,666	5,225	97.08	5,225	97.08	0	#DIV/0!	1.6
4	11,244	3,040	27.04	22,402	5,054	96.73	5,054	96.73	0	#DIV/0!	1.6

②年齢構成別状況(令和4年度末現在) (単位:人)

	0歳～19歳	20歳～39歳	40歳～59歳	60歳～69歳	70歳～74歳	75歳～
国保加入者	631	705	1,243	1,230	1,208	
構成比	12.6%	14.0%	24.8%	24.5%	24.1%	
町の人口	3,757	4,436	6,486	2,926	1,738	3,059
人口比	16.8%	15.9%	19.2%	42.0%	69.5%	



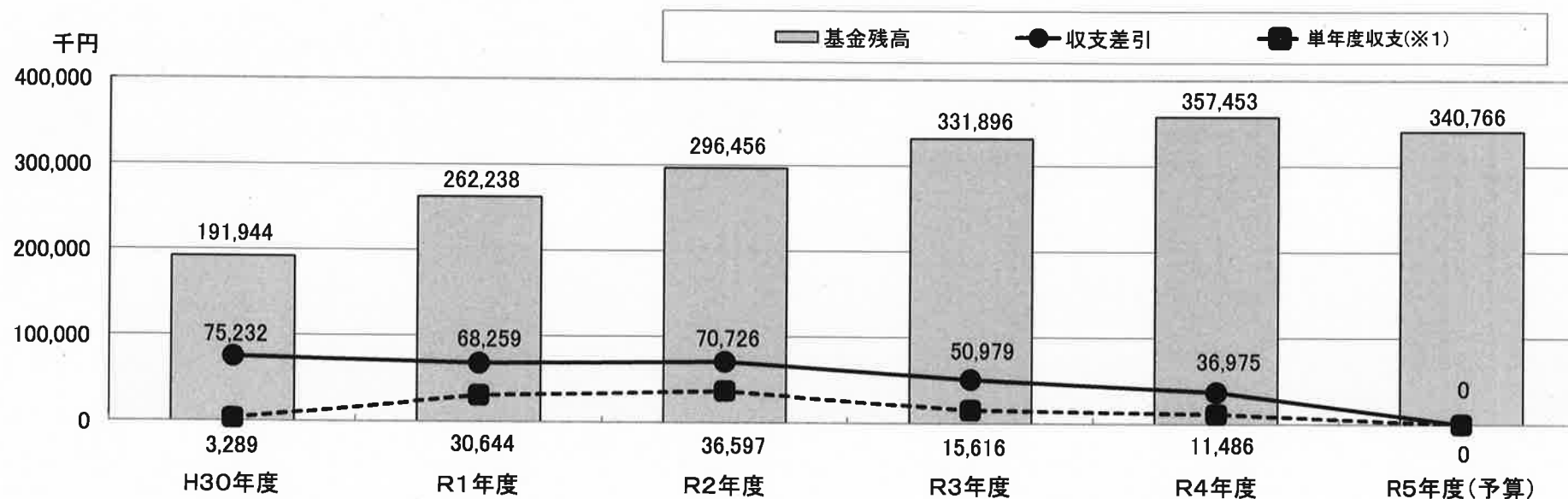
(1)年度別収支状況

(単位:千円)

年 度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度(予算)
歳 入	2,560,176	2,470,544	2,375,843	2,432,843	2,402,402	2,725,480
歳 出	2,484,944	2,402,285	2,305,117	2,381,864	2,365,427	2,725,480
収 支 差 引	75,232	68,259	70,726	50,979	36,975	0
(基金繰入額)	0	0	0	0	0	35,239
前年度繰越金	71,943	37,615	34,129	35,363	25,489	18,487
単年度収支(※1)	3,289	30,644	36,597	15,616	11,486	—
基金残高	191,944	262,238	296,456	331,896	357,453	340,766
剰 余 金	37,615	34,129	35,363	25,489	18,487	0
基金積立額	70,181	34,151	35,364	25,490	18,488	—
基金利息	113	67	88	77	67	—

※1 単年度収支……「基金繰入金」・「前年度繰越金」を除いた歳入総額から歳出総額を差し引いた実質収支

基金残高及び収支状況



(2)財政収支の内訳

歳入の国民健康保険税については、被保険者数の減少等により、対前年度比 3.2%減少の 684,505千円となりました。
平成30年度からの国保制度改革(都道府県単位化)に伴い、保険給付に要した費用全額が道支出金として収入されており、市町村事業に対する交付金を含めた道支出金の額は、1,490,343千円となりました。

また、繰入金については、対前年度比 8.8%増加の 194,584千円となり、基金からの繰入は行なわず、一般会計からの法定内繰入のみを行い財源を確保しております。

歳出の保険給付費については、新型コロナウイルス感染症の収束や被保険者の高齢化により、対前年度比 3.4%増加の 1,437,075千円となりました。
なお、保健事業費については、健診委託料等の増加により、対前年度比 23.1%増加の 29,437千円となりました。

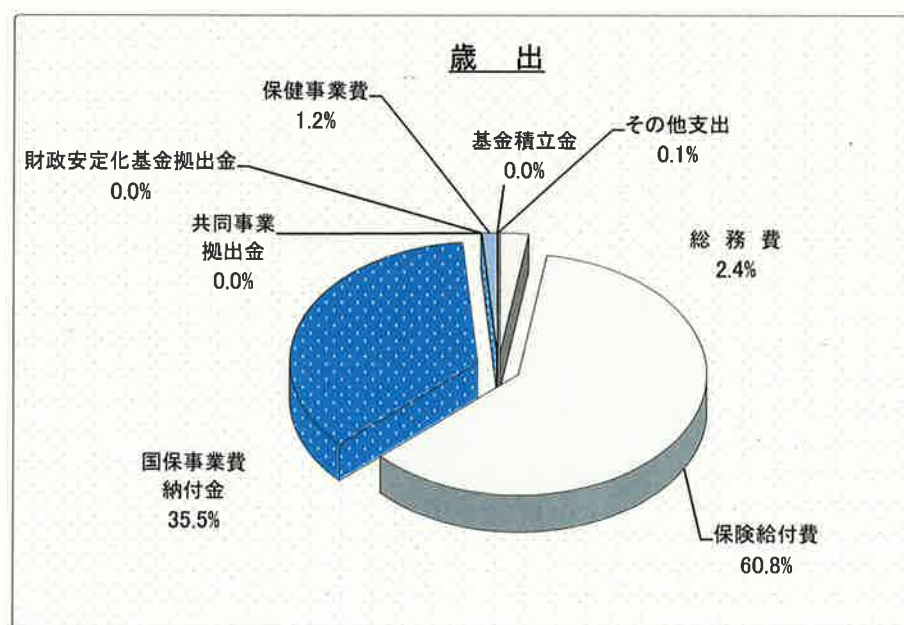
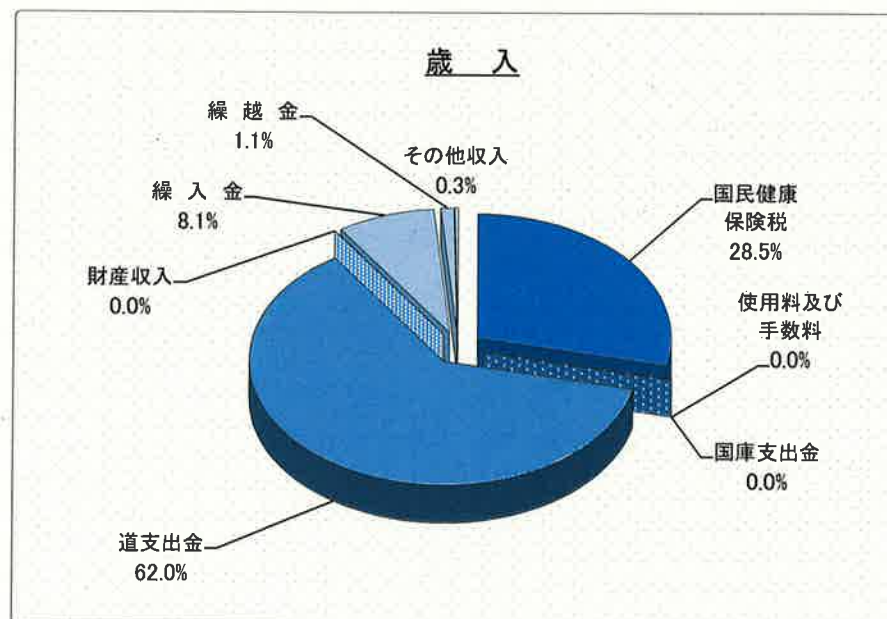
歳 入

(単位:千円)

国民健康保険税	使用料及び手数料	国庫支出金	道支出金	財産収入	繰入金	繰越金	その他収入	合 計
684,505	2	126	1,490,343	67	194,584	25,489	7,286	2,402,402

歳 出

総 務 費	保険給付費	国保事業費納付金	共同事業拠出金	財政安定化基金拠出金	保健事業費	基金積立金	その他支出	合 計
57,381	1,437,075	839,395	0	-	29,437	67	2,072	2,365,427



(1)税率の推移

年度	所得割(%)			均等割(円)			平等割(円)			賦課限度額(円)		
	医療	後期	介護	医療	後期	介護	医療	後期	介護	医療	後期	介護
元	8.3	1.9	1.8	27,000	6,400	8,000	33,000	7,000	8,000	610,000	190,000	160,000
2	8.3	1.9	1.8	27,000	6,400	8,000	33,000	7,000	8,000	630,000	190,000	170,000
3	8.2	2.6	1.9	26,400	8,500	8,500	28,000	9,000	6,600	630,000	190,000	170,000
4	8.2	2.6	1.9	26,400	8,500	8,500	28,000	9,000	6,600	650,000	200,000	170,000
5	8.2	2.6	1.9	26,400	8,500	8,500	28,000	9,000	6,600	650,000	220,000	170,000

は改正箇所

(2)保険税の賦課状況(※当初賦課時点)

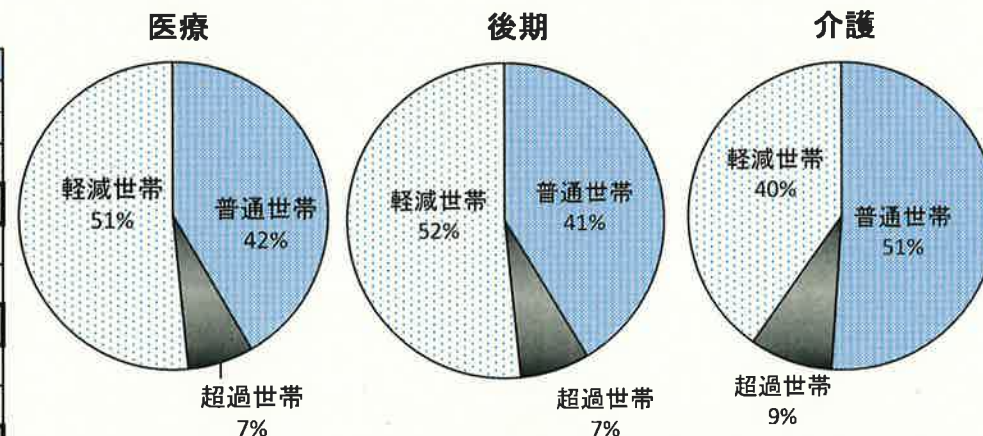
【令和4年度世帯状況】

■普通世帯 ■超過世帯 □軽減世帯

①課税世帯状況

(単位:世帯)

	年度	総世帯数	普通世帯 (特定世帯含)	超過世帯	軽減世帯			
						2割	5割	7割
医療	3	3,170	1,312	238	1,620	317	423	880
	4	3,132	1,304	213	1,615	322	406	887
	5	3,120	1,282	184	1,654	325	435	894
後期	3	3,170	1,297	253	1,620	317	423	880
	4	3,132	1,298	219	1,615	322	406	887
	5	3,120	1,296	170	1,654	325	435	894
介護	3	1,461	736	133	592	134	163	295
	4	1,417	724	123	570	124	145	301
	5	1,402	723	100	579	118	161	300



【課税額状況】

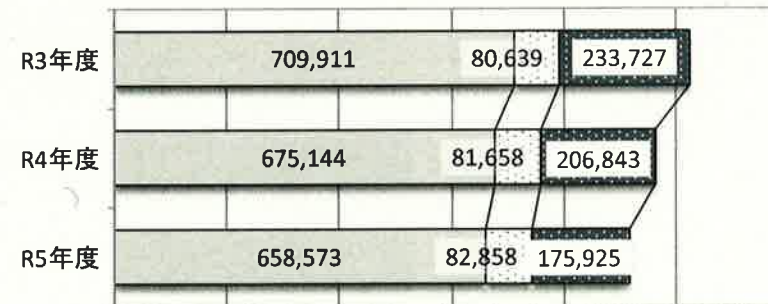
□当初調定額 □軽減額 ■限度超過額

0 200,000 400,000 600,000 800,000 1,000,000 千円

②課税額状況

(単位:千円)

	当初賦課総額	軽減額	限度超過額	端数税額	年税額	月割増減	当初調定額
R3年度	1,057,211	80,639	233,727	1	742,844	△ 32,934	709,911
R4年度	997,789	81,658	206,843	△ 1	709,289	△ 34,145	675,144
R5年度	949,894	82,858	175,925	0	691,111	△ 32,538	658,573

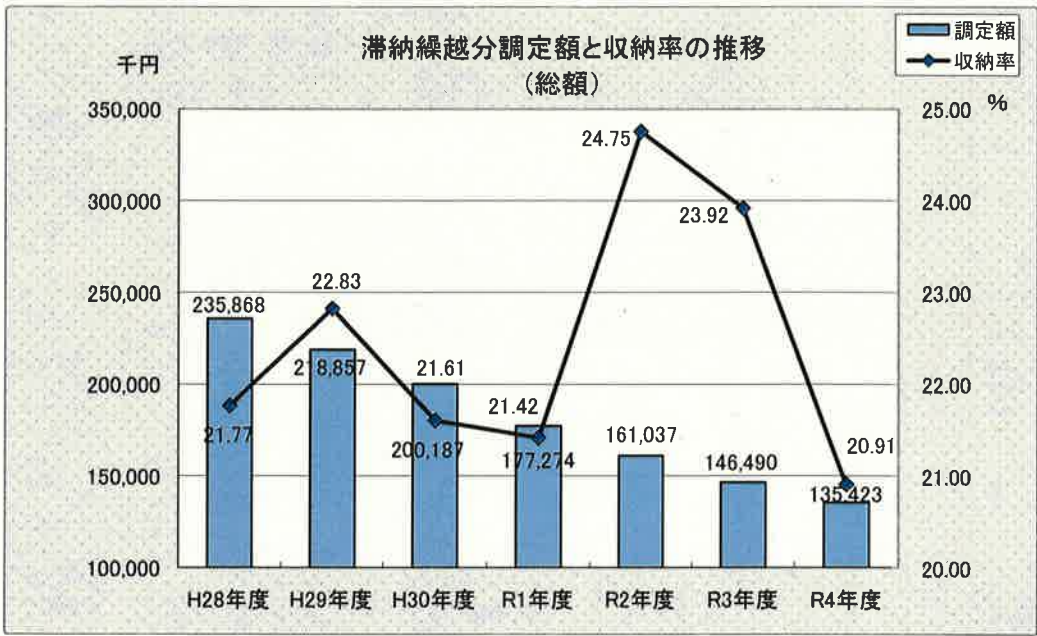


※R4年度以降の軽減額には、未就学児均等割額の減額が含まれている。

(3) 保険税調定額と収納額の推移

(単位:千円)

年 度	現 年 度			滞 納 繰 越 分			不 納 欠 損 額	計			収納率 (%)			全道平均 (%)			一世帯、一人当たり調定額 (単位:円)			
	調 定 額	収 納 額	未 収 額	調 定 額	収 納 額	未 収 額		調 定 額	収 納 額	未 収 額	現年分	滞繰分	計	現年分	滞繰分	計	一世帯当	伸率	一人当	伸率
H28年度	792,037	746,304	45,733	235,868	51,351	184,517	9,741	1,027,905	797,655	220,509	94.23	21.77	77.60	93.75	18.87	79.66	224,947	104.5	120,996	105.4
H29年度	764,334	722,363	41,971	218,857	49,955	168,902	8,659	983,191	772,318	202,214	94.51	22.83	78.55	94.58	20.86	81.51	225,734	100.3	124,141	102.6
H30年度	732,774	694,508	38,266	200,187	43,252	156,935	15,447	932,961	737,760	179,754	94.78	21.61	79.08	95.16	22.03	83.32	226,305	100.3	126,602	102.0
R1年度	713,228	678,768	34,460	177,274	37,971	139,303	11,005	890,502	716,739	162,758	95.17	21.42	80.49	95.17	23.62	84.98	225,777	99.8	128,510	101.5
R2年度	704,433	666,873	37,560	161,037	39,864	121,173	10,649	865,470	706,737	148,084	94.67	24.75	81.66	95.72	24.98	86.38	227,751	100.9	130,887	101.8
R3年度	702,810	671,822	30,988	146,490	35,038	111,452	5,335	849,300	706,860	137,105	95.59	23.92	83.23	95.96	23.40	87.39	229,977	101.0	134,509	102.8
R4年度	683,354	656,188	27,166	135,423	28,316	107,107	7,701	818,777	684,504	126,572	96.02	20.91	83.60	—	—	—	225,827	98.2	135,211	100.5



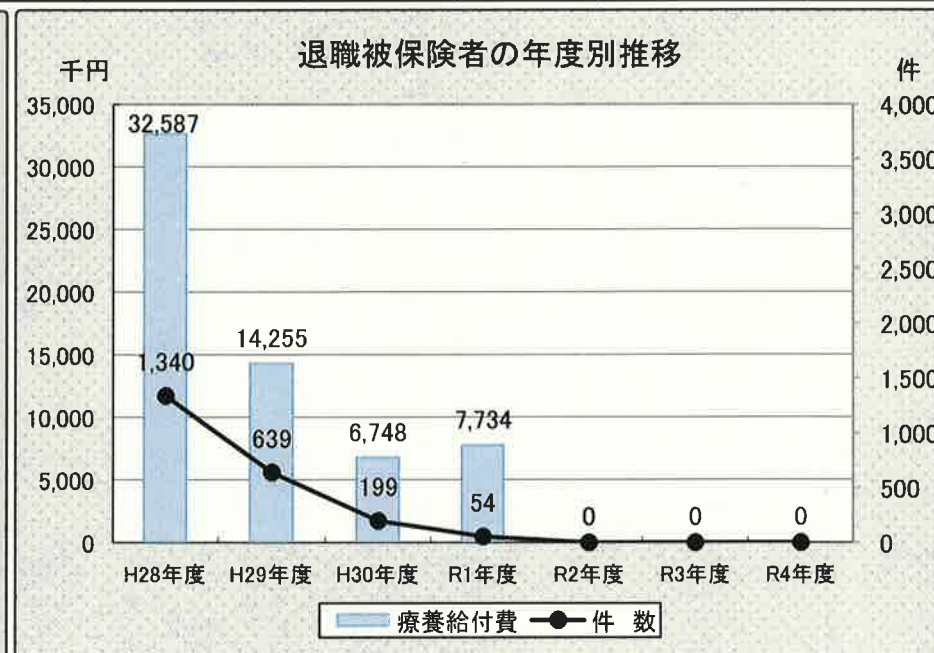
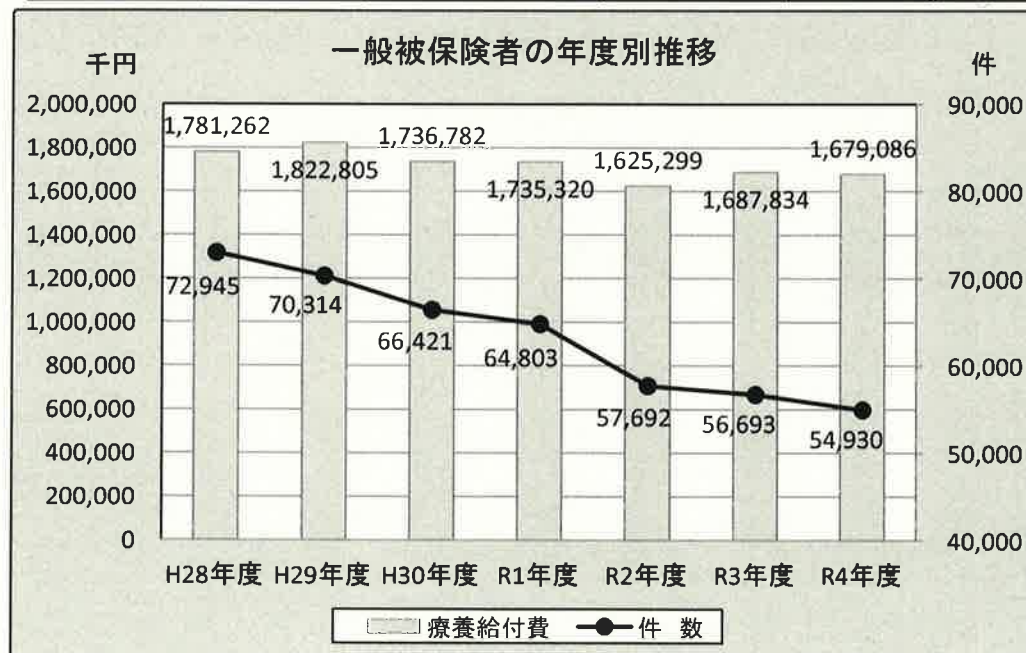
保険給付費等の状況については、一般被保険者の対前年度比件数で 3.1%減少、療養給付費では 0.5%の減少となり、1件当たりの費用額が増加したことを意味しております。要因としては、脳疾患や悪性新生物(がん)などの高額な医療費が発生する治療を必要とする方の割合が多かったものと推考しております。

また、退職被保険者につきましては、前年度同様に制度終了により件数 0件、療養給付費 0円となりました。

(1)療養給付費(診療報酬+療養費)

(単位:件、千円、%)

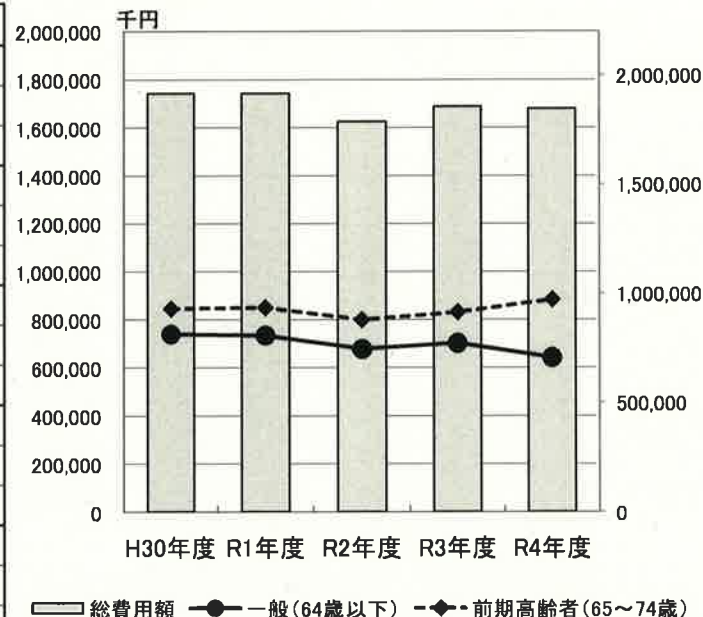
年 度	一般被保険者				退職被保険者				合 計	対前年度比
	件 数	療養給付費	増 減	対前年度比	件 数	療養給付費	増 減	対前年比		
H28年度	72,945	1,781,262	△ 250,583	87.7	1,340	32,587	△ 38,465	45.9	1,813,849	86.3
H29年度	70,314	1,822,805	41,543	102.3	639	14,255	△ 18,332	43.7	1,837,060	101.3
H30年度	66,421	1,736,782	△ 86,023	95.3	199	6,748	△ 7,507	47.3	1,743,530	94.9
R1年度	64,803	1,735,320	△ 1,462	99.9	54	7,734	986	114.6	1,743,054	100.0
R2年度	57,692	1,625,299	△ 110,021	93.7	0	0	△ 7,734	0.0	1,625,299	93.2
R3年度	56,693	1,687,834	62,535	103.8	0	0	0	0.0	1,687,834	103.8
R4年度	54,930	1,679,086	△ 8,748	99.5	0	0	0	0.0	1,679,086	99.5



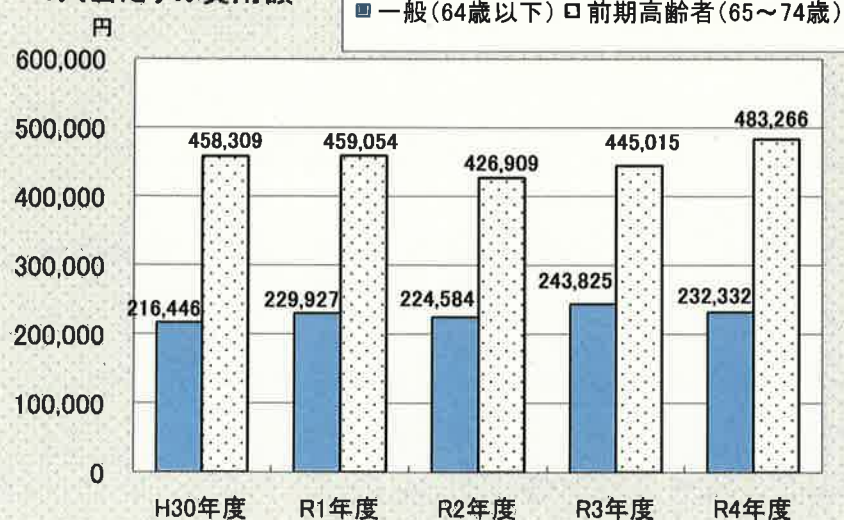
(2) 世代別保険給付費等の状況

	R1年度		R2年度		R3年度		R4年度	
平均被保険者数(人)	5,550		5,382		5,225		5,054	
一般(64歳以下)	3,512	63.3%	3,323	61.7%	3,168	60.6%	3,042	60.2%
前期高齢者(65～74歳)	2,038	36.7%	2,059	38.3%	2,057	39.4%	2,012	39.8%
受診総件数(件)	64,857		57,692		56,693		54,930	
一般(64歳以下)	31,850	49.1%	26,775	46.4%	26,164	46.2%	25,167	45.8%
前期高齢者(65～74歳)	33,007	50.9%	30,917	53.6%	30,529	53.8%	29,763	54.2%
費用額(千円)	1,743,053		1,625,299		1,687,834		1,679,086	
一般(64歳以下)	807,502	46.3%	746,293	45.9%	772,438	45.8%	706,755	42.1%
前期高齢者(65～74歳)	935,551	53.7%	879,006	54.1%	915,396	54.2%	972,331	57.9%
1人当たり費用額(円)	314,064		301,988		323,030		332,229	
一般(64歳以下)	229,927		224,584		243,825		232,332	
前期高齢者(65～74歳)	459,054		426,909		445,015		483,266	
1件当たり費用額(円)	26,875		28,172		29,771		30,568	
一般(64歳以下)	25,353		27,873		29,523		28,083	
前期高齢者(65～74歳)	28,344		28,431		29,984		32,669	

年度別費用額推移



1人当たりの費用額



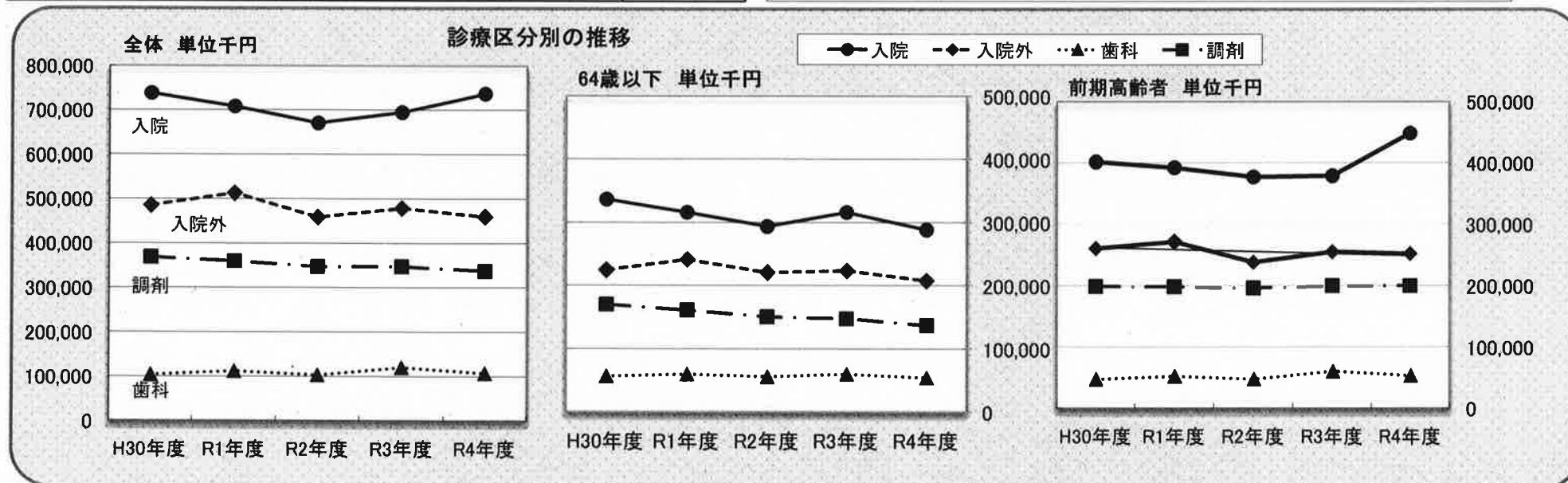
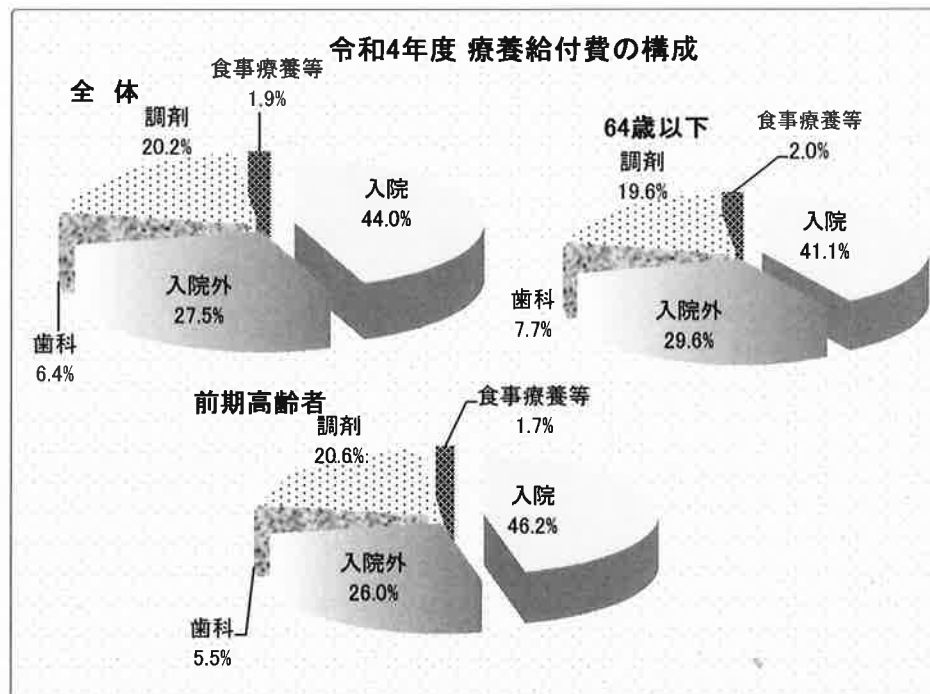
1件当たりの費用額



(3) 診療区分別保険給付費等の状況

(単位:千円)

	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
入院	738,406	708,361	670,942	694,822	736,862
64歳以下	336,606	316,035	293,785	315,900	288,313
前期高齢者	401,800	392,326	377,157	378,922	448,549
入院外	485,583	512,889	458,945	478,930	459,926
64歳以下	224,811	241,350	220,681	223,503	207,687
前期高齢者	260,772	271,539	238,264	255,427	252,239
歯科	104,108	112,223	103,184	120,223	107,548
64歳以下	56,583	59,847	55,829	59,796	53,972
前期高齢者	47,525	52,376	47,355	60,427	53,576
調剤	369,094	359,617	347,108	347,843	337,211
64歳以下	170,373	161,336	150,763	147,698	137,174
前期高齢者	198,721	198,281	196,345	200,145	200,037
食事療養等	33,086	31,821	29,950	31,327	31,228
64歳以下	16,341	15,480	14,502	15,462	14,348
前期高齢者	16,745	16,341	15,448	15,865	16,880



(4)高額療養費の状況

○件数

(単位:件)

	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
全 体	2,893	2,995	2,947	2,939	3,016
64歳以下	814	850	789	878	723
前期高齢者	2,079	2,145	2,158	2,061	2,293

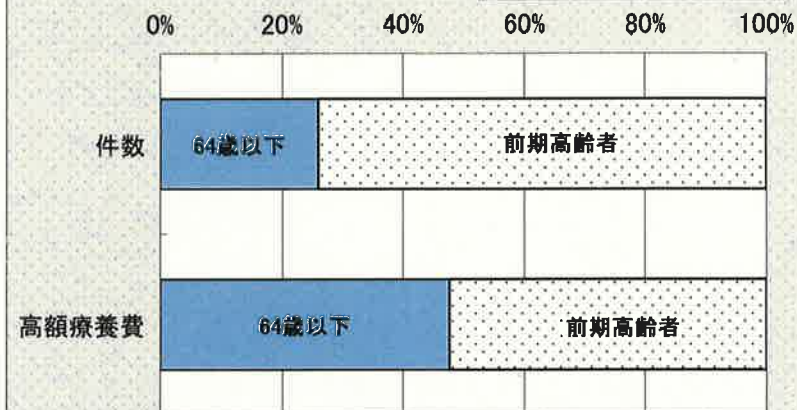
○金額

(単位:千円)

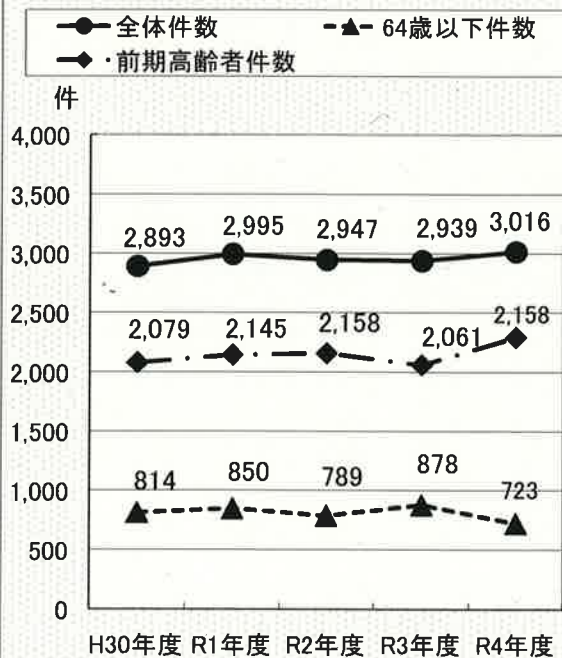
	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
全 体	180,929	175,302	172,395	187,142	183,940
64歳以下	88,017	86,270	85,460	97,389	81,635
前期高齢者	92,912	89,032	86,935	89,753	102,305

令和4年度 世代別高額療養費構成

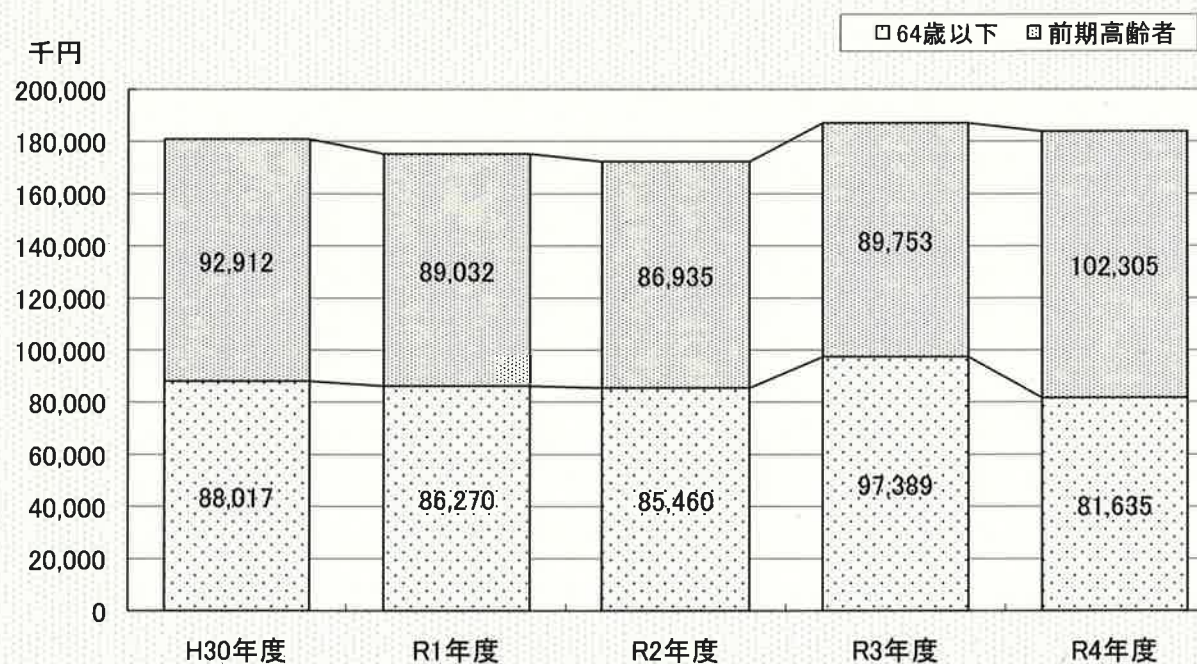
■ 64歳以下 □ 前期高齢者



高額療養費件数の状況(世代別)



高額療養費の状況(世代別)



被保険者からの申請により、令和4年度は下記のとおり国民健康保険税の減免と傷病手当金の支給を行なっております。

なお、令和5年度につきましては、新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ移行されたことに伴い、保険税の減免措置はありません。

傷病手当金については、令和5年5月7日以前に感染した者のみ対象としております。

(1) 国民健康保険税の減免

【減免要件】

- ①新型コロナウイルス感染症の影響により、主たる生計維持者が死亡または重篤な傷病を負った世帯 ⇒ **全額減免**
- ②新型コロナウイルス感染症の影響により、主たる生計維持者の事業収入等(事業収入、給与収入、不動産収入及び山林収入)の減少が見込まれ、
次の(1)～(3)のすべてに該当する世帯 ⇒ **対象保険税額 × 減免割合**

- (1) 事業収入、給与収入、不動産収入、山林収入のいずれかの収入が、収入の種類ごとに見た場合に前年に比べて**10分の3以上減少**する見込みであること
- (2) 主たる生計維持者の前年の所得合計額が**1,000万円以下**であること
- (3) 主たる生計維持者の減少が見込まれる収入にかかる所得以外の前年所得合計額が**400万円以下**であること

前年の合計所得金額	減額または減免の割合
300万円以下であるとき	全部
400万円以下であるとき	10分の8
550万円以下であるとき	10分の6
750万円以下であるとき	10分の4
1,000万円以下であるとき	10分の2

(単位:件、円)

減免割合	令和4年度			
	件数	医療(後期)分	介護分	合 計
全部	3	319,736	10,464	330,200
10分の8	0	0	0	0
10分の6	1	299,049	54,051	353,100
10分の4	0	0	0	0
10分の2	0	0	0	0
合 計	4	618,785	64,515	683,300
却 下	2			

(2) 傷病手当金の支給

【支給要件】

令和5年5月7日までに感染した新型コロナウイルス感染症の療養のため労務に服することができず、
給与等の全部または一部を受け取ることができなくなった場合

⇒ **1日あたりの支給額**((直近3ヶ月間の給与収入の合計額÷就労日数)×2/3) × 支給対象となる日数

(単位:件、円)

令和4年度	
申請・決定件数	支給金額
5	109,166

令和 4 年度 国民健康保険事業特別会計決算（款項別）

（単位：千円）

歳 入		入			
科 目	予算現額 (A)	決算額 (B)	比 較 (B) - (A)	説 明	
1. 国民健康保険税	684,434	684,505	71	収納率：現年 96.02% 滞繰 20.91%	
（医療給付費分）	(471,949)	(473,757)	1,808	R03決算：現年 95.59% 滞繰 23.92%	
（後期高齢者分）	(147,279)	(148,164)	885	R02決算：現年 94.67% 滞繰 24.75%	
（介護納付金分）	(65,206)	(62,584)	△2,622	R01決算：現年 95.17% 滞繰 21.42%	
2. 使用料及び手数料	1	2	1		
3. 国庫支出金	0	126	126		
1. 国庫補助金	0	126	126		
災害臨時特例補助金	0	0	0		
社会保険・税番号制度システム整備費補助金	0	126	126		
4. 道支出金	1,827,867	1,490,343	△ 337,524		
1. 道負担金	1,827,867	1,490,343	△ 337,524	※特別交付金	
保険給付費等交付金（普通）	1,783,609	1,433,535	△ 350,074	保険者努力支援分	14,921
保険給付費等交付金（特別）	44,258	56,808	12,550	特別調整交付金分	7,117
				道2号繰入金分	30,688
				特定健診分	4,082
5. 財産収入	68	67	△ 1		
6. 繰入金	200,382	194,584	△ 5,798		
1. 一般会計繰入金	200,382	194,584	△ 5,798	※一般会計繰入金	83,063
2. 基金繰入金	0	0	0	基盤安定（軽減分）	53,014
				基盤安定（支援分）	5,600
				出産育児一時金	1,824
				未就学児均等割保険税	48,359
				職員給与費等分	2,724
				財政安定化支援分	
7. 繰越金	7,632	25,489	17,857		
8. 諸収入	1,510	7,286	5,776		
9. 町債（財政安定化基金貸付金）	0	0	0		
歳入合計	2,721,894	2,402,402	△ 319,492		

差引（歳入－歳出）	0	36,975
-----------	---	--------

歳 出		出			
科 目	予算現額 (A)	決算額 (B)	比 較 (B) - (A)	説 明	
1. 総務費	60,159	57,381	△ 2,778	※総務費	
				総務管理費	27,804
				徴税費	29,521
				運営協議会費	56
2. 保険給付費	1,783,653	1,437,075	△ 346,578		
1. 療養諸費	1,550,773	1,243,018	△ 307,755		
診療報酬支払金	1,539,184	1,234,945	△ 304,239		
療養費	8,902	5,386	△ 3,516		
審査支払手数料	2,687	2,687	0		
2. 高額療養費	220,755	184,554	△ 36,201		
高額療養費	220,555	184,533	△ 36,022		
高額介護合算療養費	200	21	△ 179		
3. 移送費	100	0	△ 100		
4. 出産育児諸費	10,926	8,404	△ 2,522		
5. 葬祭諸費	990	990	0		
6. 傷病手当金	109	109	△ 0		
3. 国民健康保険事業費納付金	839,395	839,395	0		
4. 共同事業拠出金	1	0	△ 1		
5. 保健事業費	33,668	29,437	△ 4,231		
1. 特定健康診査等事業費	27,308	24,962	△ 2,346		
2. 保健事業費	6,360	4,475	△ 1,885		
6. 基金積立金	68	67	△ 1		
7. 公債費	100	1	△ 99		
8. 諸支出金	3,850	2,071	△ 1,779	※諸支出金	
				還付金・加算金	1,361
				国庫補返還金	0
				保給交返還金	710
9. 予備費	1,000	0	△ 1,000		
歳出合計	2,721,894	2,365,427	△ 356,467		

R4年度積立額

67千円

基金積立金

R4年度末残高

357,453千円

(R3年度末残高)

331,896千円

(R3決算積立基金)

25,490千円

議案第 2 号

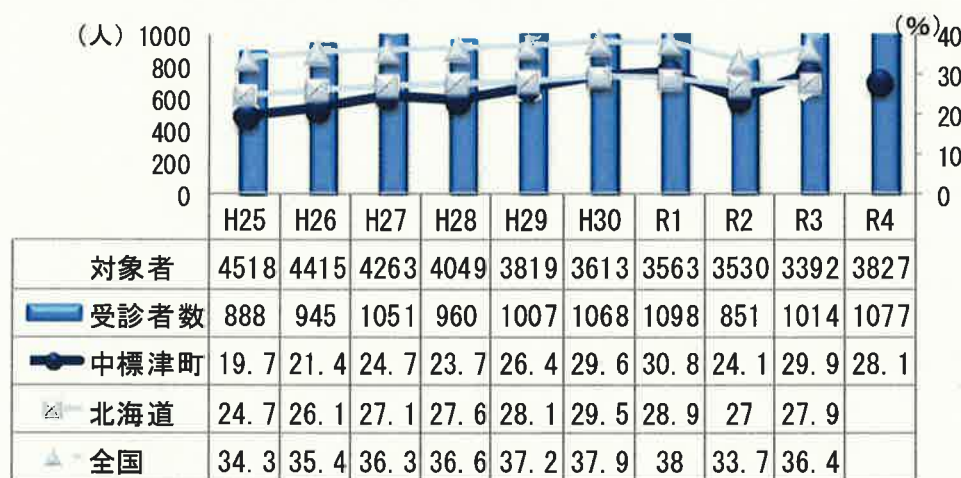
保健事業について

1. 令和4年度保健事業実績

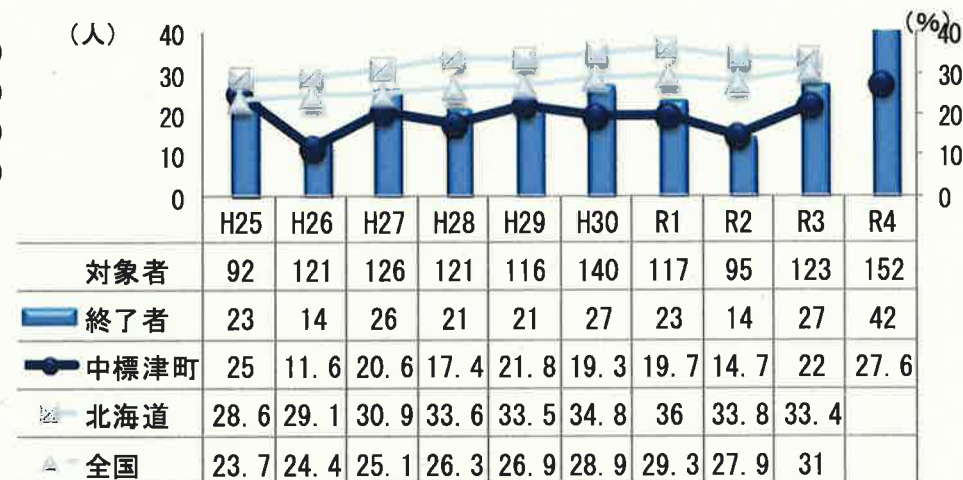
(1) 特定健康診査・特定保健指導

40～74歳を対象に実施。同時に18～39歳の国保加入者と、75歳以上の後期高齢者医療保険加入者についても健診を無料で実施。

【図1 特定健診受診数・受診率の推移】



【図2 特定保健指導数・率の推移】



※R3までは法定報告値。R4は実績値

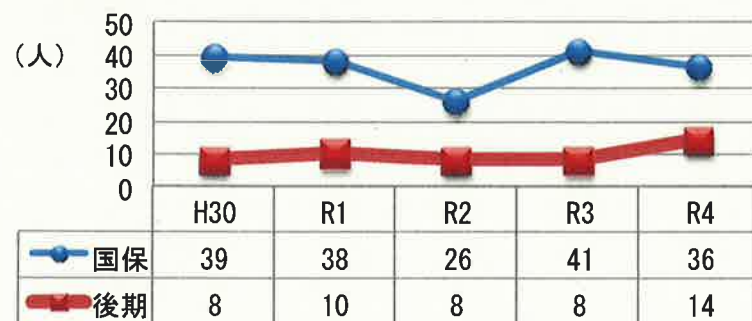
(2) 国保・後期人間ドック

対象：40歳以上の国保加入者（条件：1年以上加入、保険税滞納のない世帯）

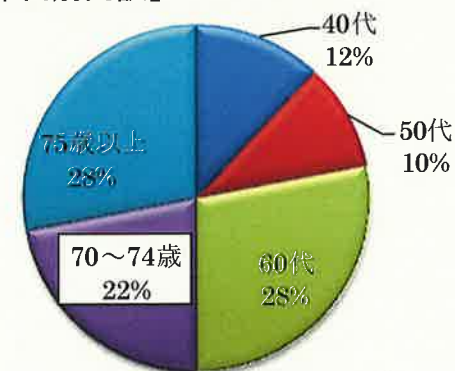
受診数（図3）：国保加入者の受診者は前年度より減少。

年代別内訳（図4）：70歳以上の受診者が5割を占める。

【図3 受診数推移】



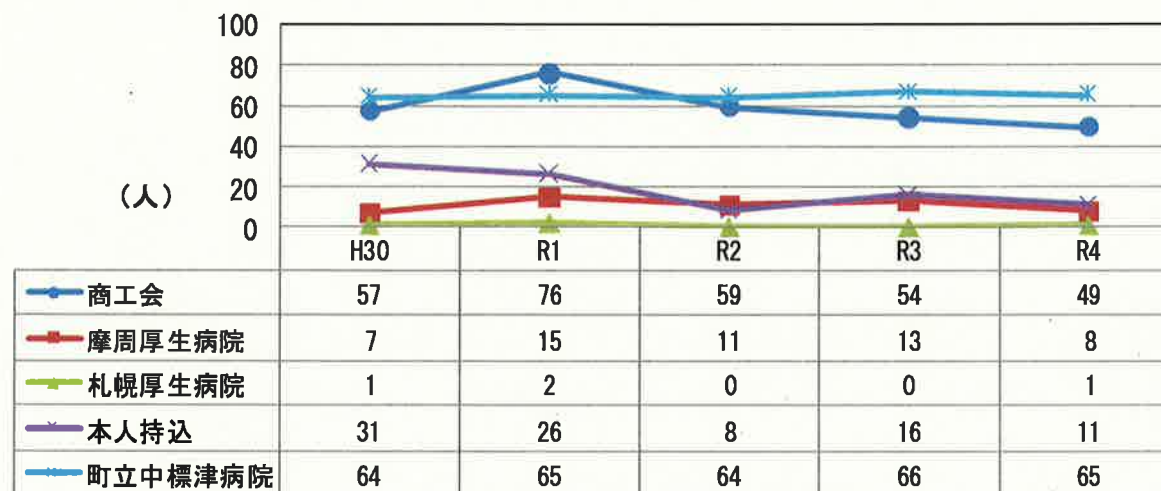
【図4 受診者年代別内訳】



(3) データ受領（みなし健診）

健診や人間ドックでの結果を本人の同意のもと、医療機関から直接データ提供（商工会、摩周・札幌厚生病院実施分）、医療機関での受診結果を本人が町へデータ提供、町立中標津病院内科通院者の受診結果を町へデータ提供（平成30年度より町立中標津病院とみなし健診について委託契約済み）

【図5 データ受領数の推移】



(4) 骨粗鬆症検診

方 法：集団検診（各農協）、個別検診（町立中標津病院）

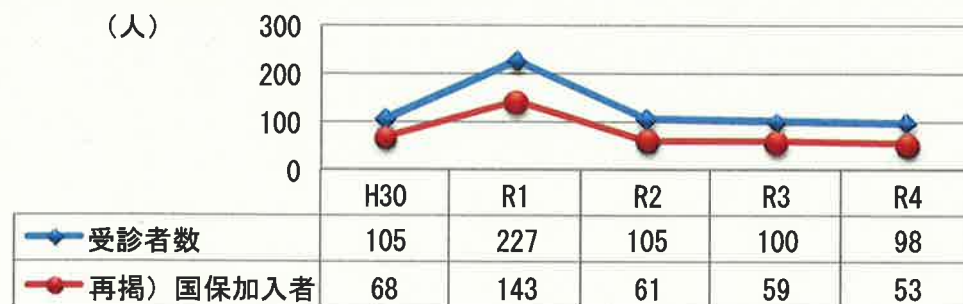
料 金：国保加入者は無料

受診者数（図6）：前年度より同水準。

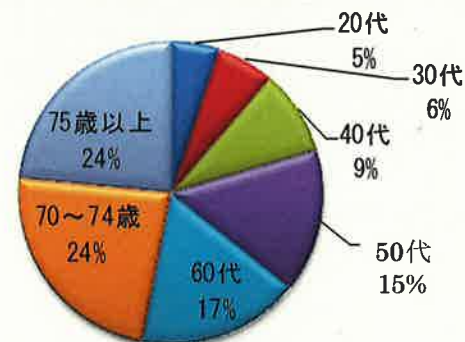
年代内訳（図7）：60代以上の受診者が大半を占める。

結果状況（図8）：要医療が1割を占める。

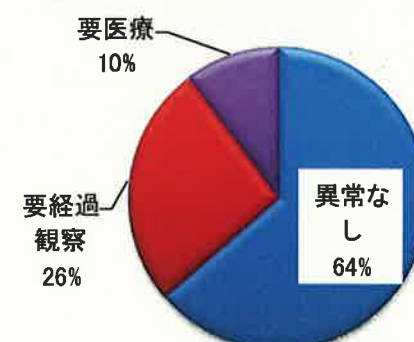
【図6 受診状況】



【図7 受診者年代内訳】



【図8 結果状況】



(5)なかなか健康なかしべつポイント

対 象 : 18歳以上の町民

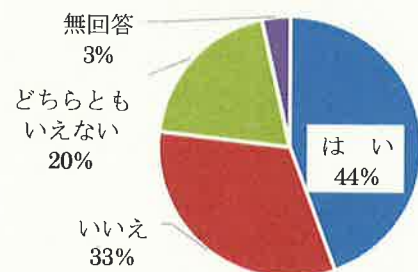
方 法 : 健診の受診や体育施設の利用、自宅での健康づくりへの取り組み等に応じてポイントを付与し、6ポイント貯まったら応募。
抽選で健康グッズ等が当たる。応募には健診ポイントを必須。応募は期間中一人1回。令和4年度よりWEB応募を追加した。
抽選会を令和5年4月25日開催。

結 果 : 応募者数 458名（内WEB応募者数は35名） 当選者数200名

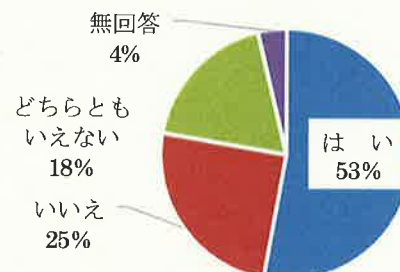
応募者へのアンケート結果（図9）、応募者年代内訳（図10）、各種検診受診状況（表1）

【図9アンケート結果】

① この事業が健診を受けるきっかけとなりましたか？



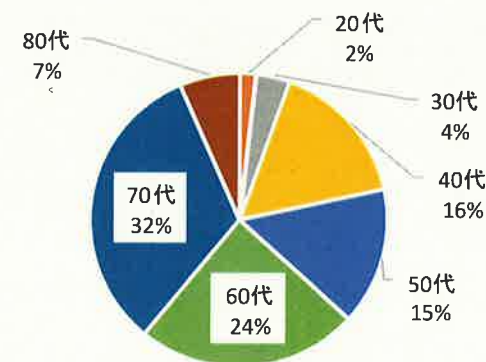
② この事業が運動をするきっかけとなりましたか？



【表1】健康診査、各種がん検診等の受診状況

	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	昨年との比較
特定健康診査	1,152	890	1,071	1,077	6
若者健診	94	62	86	77	▲9
後期高齢者健康診査	220	141	211	238	27
胃がん検診	755	549	666	585	▲81
肺がん検診	1,100	813	998	1,018	20
大腸がん検診	1,116	814	1,031	1,021	▲10
乳がん検診	492	316	375	413	38
子宮頸がん検診	399	222	328	338	10
骨粗鬆症検診	227	105	100	98	▲2

【図10応募者年代内訳】



(6)国保重複・多受診者訪問事業

対 象：

- ① 重複受診者：同一診療年月内で、同一診療科のレセプトが2件以上の月が3ヶ月以上継続している者（医療機関からの紹介、検査や手術のための重複受診を除く。）
- ② 多受診者：同一診療年月内で、レセプトが3件以上の月が3ヶ月以上連続している者
- ③ 重複服薬者：同一医薬品の処方が同一月に複数ある者

方 法：国保連合会から提供される重複受診・多受診者リストからレセプトを確認し、対象者を抽出。文書について通知後、保健師による訪問指導を実施。訪問後3ヶ月経過後にレセプトにて受診状況を確認し評価。

結 果：訪問対象者1名のうち、訪問件数 1名（内訳：重複受診1名）。

支援の効果が得られたケース 0名

(7)生活習慣病治療中断者対策

対 象：生活習慣病（高血圧、糖尿病、脂質異常症）の治療中断者

方 法：株式会社データホライゾンから提供された令和3年度生活習慣病治療中断者リストから令和4年度のレセプトを確認し、引き続き治療中断している対象者を抽出。文書について通知後、保健師による訪問指導を実施。訪問後3ヶ月経過後にレセプトにて受診状況を確認し評価。

結 果：訪問対象者2名のうち、訪問件数1名（1名は不在のため連絡つかず）。

支援の効果が得られたケース 0名

(8)中標津町国民健康保険医療費適正化事業

方 法：株式会社データホライゾンに業務委託を行い、令和3年度の健診データ及びレセプトデータから医療費分析を実施。

結 果：別紙資料参照

※主な内容

- ・健診異常値放置者の割合が高い
- ・生活習慣病治療中断者数は少ない
- ・透析患者数及び透析患者の1人あたり医療費ともに低い
- ・脳梗塞患者数が多い

2. 令和5年度 主な事業について

(1) 特定健診

	実施体制	新たな取り組み
集団健診	保健センターでのバス健診（結核予防会） 6/15～6/18、9/1～9/5、10/25～10/29 合計 14 日間	継続
	各農協でのバス健診（計根別 8/1～8/2、中標津 10/5）	継続
個別健診	町立中標津病院、石田病院、釧路がん検診センター	継続
人間ドック	町立中標津病院、石田病院、釧路がん検診センター	継続
データ受領	商工会、摩周厚生病院、札幌厚生病院、本人持込み、みなし健診（町立中標津病院）	株式会社キャンサーズキャンへみなし健診対象者リストデータ作成の委託

●特定健診受診率向上支援共同事業

- ① 北海道国民健康保険団体連合会との共同事業として実施。A Iにより効果的なグループ分け、及びグループ特性に基づく受診勧奨メッセージを掲載したハガキによる受診勧奨を行う。今年度は年度内2回の勧奨を予定し、1回目を7月11日に、2回目を9月5日にハガキを発送済み。
- ② レセプトデータ分析から、定期的に生活習慣病（高血圧・糖尿病・高脂血症）の治療をされていた方が治療中断となっている方を抽出し、対象者に受診勧奨の通知及び保健指導を実施する。また、前年度特定健診受診者で受診勧奨値を超えているがまだ精密検査を受診されていない方（血圧・糖代謝・脂質）を抽出し、対象者に受診勧奨の通知を行う。（9月8日にハガキ発送予定）
- ③ 中標津町国民健康保険第2期データヘルス計画、第4期中標津町特定健康診査・特定保健指導実施計画策定業務

●脳梗塞予防に取り組む住民主体の地域活動の支援

俣落保健会会員を対象に、健康相談（血圧測定）、健康学習会を開催し、脳梗塞予防に関する疾病予防や早期発見、発症時対応などの知識の普及を図ることで、会員のみならずその家族や地域の健康意識や生活行動の変容につなげていく。

(2) なかなか健康なかしべつポイント事業

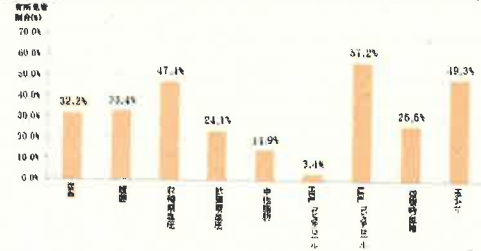
昨年度に引き続き、18歳以上の町民を対象に実施。健診の受診を応募に際し必須とし、自宅などでの健康づくりへの取り組みにもポイント付与対象とする。WEB応募を周知し応募しやすい環境とする。実施期間を3月31日まで、抽選会を令和6年4月開催予定。

①基礎統計

	12月1日現在	12月31日現在
A 被保険者数(人)	3,264	26,967
B レセプト件数(件)	1,101	20,396
C 医療費(円)	123,781,588	1,485,019,060
D 患者数(人)	1,944	23,323
入院	108,731	243,805
入院外	135,074	4.63
受診率(件/人)	0.20	1.84
一件当たりの日数(日)	14.24	1.84
一件当たりの医療費(円)	38,418	23,686

②特定健康診査有所見者割合

有所見者割合…健康検査値が記録されている人で、保健指導判定値を超えている人の割合。

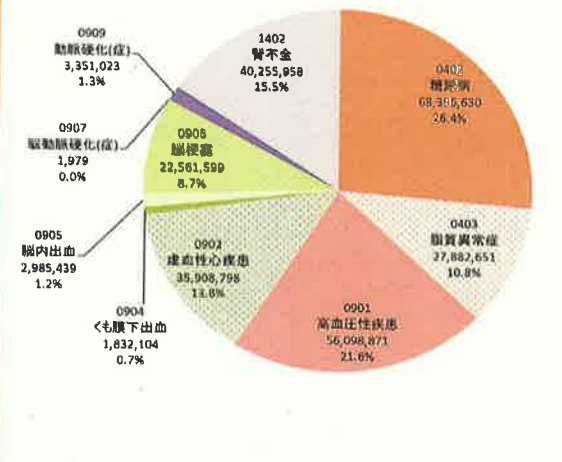


③高額レセプト

順位	疾患分類(中分類)	患者数(人)	医療費(円)合計	患者一人当たりの医療費(円)
1	0210 その他の悪性新生物(腫瘍)	32	141,590,250	4,424,695
2	1303 腎臓病	16	42,719,460	2,669,966
3	0902 虚血性心疾患	14	30,789,210	2,199,015
4	1305 その他の泌尿器及びその附属器の疾患	12	24,048,340	2,004,028
5	0905 脳内出血	9	21,465,460	2,385,051
6	0906 脳梗塞	9	21,690,620	2,410,069

④生活習慣病医療費

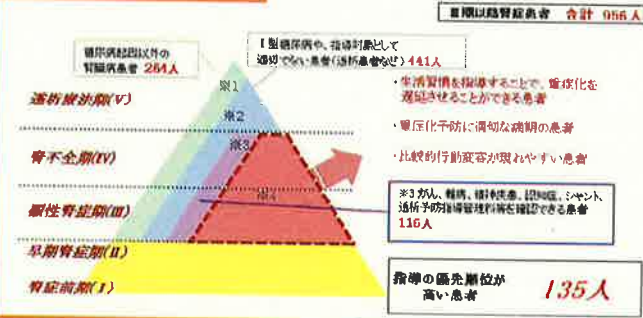
	入院(円)	入院外(円)	合計(円)	構成比(%)
生活習慣病	62,567,980	196,707,072	259,275,052	17.5%
生活習慣病以外	599,025,900	620,340,978	1,219,366,878	82.5%
合計(円)	661,593,880	817,048,050	1,478,641,930	



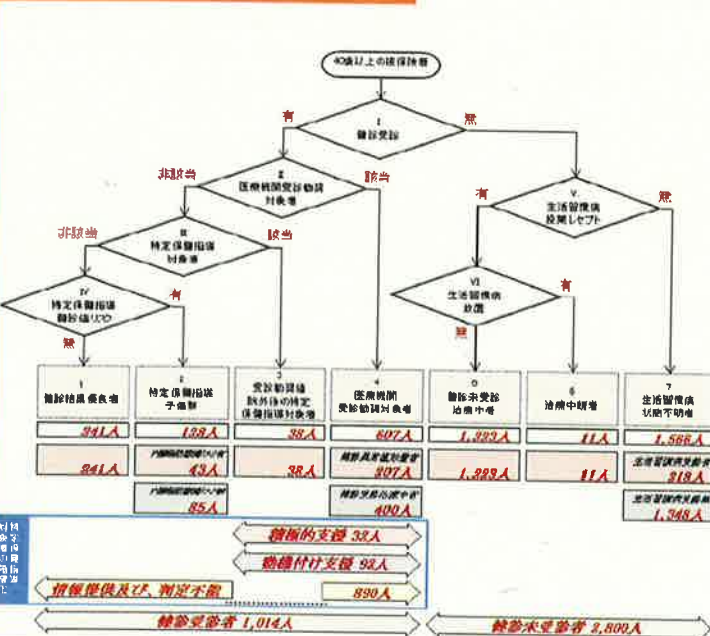
⑤疾病別医療費中分類

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円)	構成比(%)	患者数(人)	患者一人当たりの医療費(円)
1	1010 その他の悪性新生物(腫瘍)	144,258,558	9.8%	795	181,457
2	0902 糖尿病	68,396,630	4.6%	1,939	35,475
3	1113 その他の消化器系の疾患	60,513,000	4.1%	1,439	42,002
4	0903 その他の心疾患	60,371,103	4.1%	625	96,594
5	0901 高血圧性疾患	56,098,871	3.8%	1,584	35,416
6	0906 その他の泌尿器系の疾患	50,803,695	3.4%	1,064	47,800
7	1402 腎不全	40,266,958	2.7%	114	353,122
8	1302 関節症	38,850,799	2.6%	487	79,775
9	0404 その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	36,187,707	2.4%	637	56,810
10	0902 虚血性心疾患	35,908,798	2.4%	676	53,120

⑥糖尿病性腎症重症化予防



⑦健診及びレセプトによる指導対象者群分析



⑧後発医薬品普及率 (数量)



⑨長期多剤服薬状況

※長期服薬者数…複数医療機関から内服薬が長期(14日以上)処方されている人数。
※長期多剤服薬者数…複数医療機関から内服薬が長期(14日以上)処方されており、処方種類が6種類以上の人数。

	30歳以下	31歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳～79歳	80歳～89歳	90歳以上	合計
被保険者数	1,405	321	332	323	346	471	904	1,553	5,655
長期服薬者数	18	12	18	10	14	27	87	150	436
長期多剤服薬者数	0	5	6	7	4	18	47	95	165

薬剤併用禁忌…1カ月間に併用禁忌とされる薬剤を処方された人を対象とする。

薬剤併用禁忌	患者数	件数合計
	95	119

⑩多受診

重複受診患者
1カ月間で同系の疾病を理由に3医療機関以上受診している患者

頻回受診患者
1カ月間で同一医療機関に12回以上受診している患者

重複服薬者
1カ月間で同系の医薬品が複数の医療機関で処方され、同系

重複受診者	15	実人数	93
頻回受診者	4	除外後患者数	22
重複服薬者	78		

⑪脳梗塞再発予防事業



⑫骨折・骨粗鬆症分析

